

下水道管路の老朽化対策により、 道路陥没事故等を未然に防止する

【対策】83 下水道施設の老朽化対策

対策概要：老朽化したストックの増大に伴う道路陥没事故発生や機能停止等を未然に防止するため、予防保全への転換に向けて、下水道管路の老朽化対策を実施する。

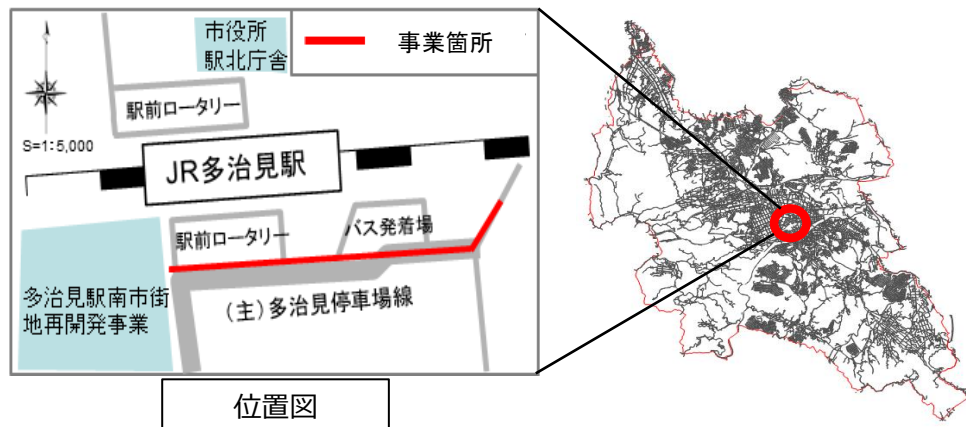
府省庁名：国土交通省

【事例】^{たじみし}多治見市における下水道管路の老朽化対策

- 実施主体：岐阜県多治見市
- 実施場所：岐阜県多治見市
- 事業概要：JR多治見駅付近は、通勤・通学者や路線バス・タクシーが多く通過するが、周辺の下水道施設は老朽化が著しく進行し、下水道に起因した道路陥没事故等のリスクがあったため、老朽化した下水道管路について、管更生工事※(L=0.3km)を実施。

※管更生：破損や腐食した既設の管渠の内面を更生する工法

- 事業費：約1億円
(うち5か年加速化対策(加速化・深化分)約1億円)



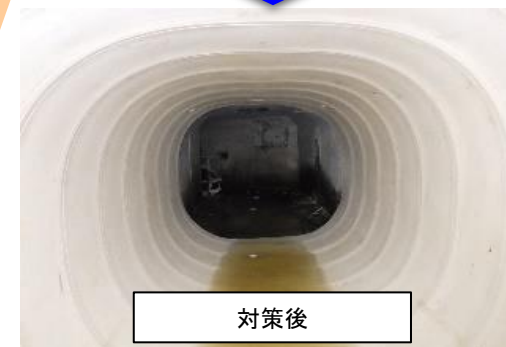
- 効果：地震や大雨等の災害により、老朽化した下水道管路の破損等が生じ道路陥没事故が発生することを防止し、汚水の流下機能の停止を防ぎ、公衆衛生を保全するとともに、道路利用者の安全を確保し、交通機能を維持する。

下水道に起因した道路陥没



対策前

管更生



対策後

予防
保全